



Cisco Unity Connection Messaging Inbox Web ツール ユーザ ガイ ド（リリース 10.x）

初版：2013年11月01日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <http://www.cisco.com/go/trademarks>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

© 2014 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



目次

Messaging Inbox Web ツール 1

Messaging Inbox Web ツールについて 1

Messaging Inbox Web ツールへのアクセス 2

Messaging Inbox Web ツールのヘルプへのアクセス 2

Messaging Inbox Web ツールでの Media Master の操作 5

Media Master の概要 5

録音でのサウンドファイルの使用 6

再生デバイスと録音デバイスの変更 7

再生デバイスがコンピュータのスピーカーである場合のメッセージ再生音量の変更 8

再生デバイスがコンピュータのスピーカーである場合のメッセージ再生速度の変更 8

Media Master のキーボードショートカット 9

メッセージの管理 11

Messaging Inbox の連絡先リストを使用したボイスメッセージの宛先指定 11

ボイスメッセージの送信 12

メッセージのチェック 14

ボイスメッセージへの返信 15

ボイスメッセージの転送 17

メッセージの削除 18

開封確認の管理 19

削除済みアイテムフォルダの管理 21

削除済みアイテムフォルダについて 21

削除済みアイテムの管理 21

メールボックスのサイズの管理 23

メールボックスサイズについて 23

メールボックスがすぐに一杯になってしまう理由 23

メールボックスのサイズの管理に関するヒント 24



第 1 章

Messaging Inbox Web ツール

- [Messaging Inbox Web ツールについて, 1 ページ](#)
- [Messaging Inbox Web ツールへのアクセス, 2 ページ](#)
- [Messaging Inbox Web ツールのヘルプへのアクセス, 2 ページ](#)

Messaging Inbox Web ツールについて

Cisco Unity Connection Messaging Inbox Web ツールには、受け取ったボイス メッセージと開封確認が含まれています。

各 Messaging Inbox ページの該当するアイコンを選択すると、ページ上のメッセージを並べ替えたり削除したりできます。また、ボイスメッセージを作成したり再生したりすることもできます。メッセージの再生と録音には、Media Master を使用します。

Messaging Inbox では表示が自動的に更新されません。新規メッセージを確認するには、[メッセージの更新] アイコンをクリックする必要があります。

デフォルトでは、一度に 10 件のメッセージが表示されますが、[1 ページあたりのメッセージ数] リストで異なる値を選択すると、各セッションの数を変更できます。Messaging Inbox 内のメッセージ数が [1 ページあたりのメッセージ数] リストで指定した値を超えている場合は、矢印かページの下のページ番号をクリックして、別の Messaging Inbox ページに移動します。

低帯域幅環境でマルチメディア スピーカーからメッセージを再生するとパフォーマンスや音質の問題が発生する場合は、Connection の管理者に問い合わせてください。

Messaging Inbox Web ツールには、Cisco Personal Communications Assistant (PCA) Web サイトからアクセスできます。



- (注) Cisco PCA と Messaging Inbox を使用するよう、コンピュータの Web ブラウザを設定する必要があります。業務で使用するコンピュータに対しては Connection の管理者がすでにこの設定を行っている可能性があります。ユーザの組織が Cisco PCA へのリモートアクセスを提供する場合は、Web サイトへのアクセスに使用する他のコンピュータにインストールされているブラウザを設定する必要があります。手順については、Connection の管理者に問い合わせてください。

関連トピック

[Messaging Inbox Web ツールのヘルプへのアクセス, \(2 ページ\)](#)

Messaging Inbox Web ツールへのアクセス

手順

- ステップ 1** <http://<Cisco Unity Connection サーバ名>/ciscopca> にある Cisco PCA のサインイン ページに移動します。URL は大文字と小文字が区別されます。Cisco PCA の URL をブックマークすると、Messaging Inbox にアクセスするたびに Web アドレスを入力する必要がなくなります。
- ステップ 2** ユーザ名とパスワードを入力します。Cisco PCA のパスワードを忘れた場合は、Connection の管理者に問い合わせてください。
- ステップ 3** [サインイン] を選択します。
- ステップ 4** Cisco PCA のホーム ページで、[Messaging Inbox] のリンクをクリックします。
- ステップ 5** 作業終了後、Messaging Inbox の任意のページの右上隅にある [サインアウト] を選択します。

Messaging Inbox Web ツールのヘルプへのアクセス

手順

- ステップ 1** Messaging Inbox の任意のページで、[ヘルプ] メニューを選択します。
- ステップ 2** [ヘルプ] メニューから、次の適切なリンクを選択します。

オプション	説明
[コンテンツ]	ヘルプのトピックがリスト表示されます。

オプション	説明
[インデックス]	ヘルプのインデックスが表示されます。
[このページ]	表示するページに対応したヘルプトピックが表示されます。

アイコンのヘルプが必要な場合は、カーソルをアイコンの上に置いてツールチップを表示させます。



第 2 章

Messaging Inbox Web ツールでの Media Master の操作

- [Media Master の概要, 5 ページ](#)
- [録音でのサウンドファイルの使用, 6 ページ](#)
- [再生デバイスと録音デバイスの変更, 7 ページ](#)
- [再生デバイスがコンピュータのスピーカーである場合のメッセージ再生音量の変更, 8 ページ](#)
- [再生デバイスがコンピュータのスピーカーである場合のメッセージ再生速度の変更, 8 ページ](#)
- [Media Master のキーボードショートカット, 9 ページ](#)

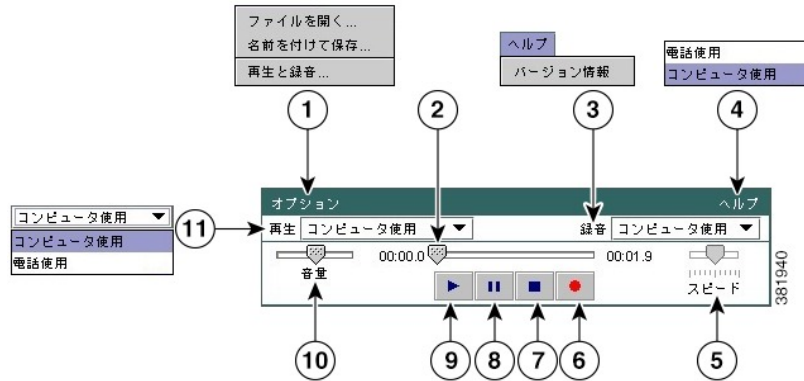
Media Master の概要

Media Master は Messaging Inbox Web ツールのボイス メッセージ内に表示されます。コントロールをクリックすることで、電話またはコンピュータのマイクとスピーカーを使用してメッセージを再生および録音できます。

また、Media Master を使用すると、Messaging Inbox の操作中に使用する録音デバイスや再生デバイスを変更したり、コンピュータ スピーカーから再生されるメッセージの再生音量や再生速度を変更することもできます。

Media Master 設定を更新すると、ユーザごとに各コンピュータに保存されます。また、別のコンピュータ（自宅のコンピュータなど）も使用して Media Master にアクセスする場合は、2 台目のコンピュータの Media Master 設定も更新する必要があります。

図 1 : Messaging Inbox での Media Master



1	[オプション] メニュー	7	停止
2	録音/再生の経過表示	8	一時停止
3	録音リスト	9	再生
4	[ヘルプ] メニュー	10	音量のコントロール
5	再生速度コントロール	11	再生リスト
6	録音		

録音でのサウンドファイルの使用

Media Master の [オプション] メニューを使用すると、録音で別のサウンド（WAV）ファイルを使用できます（[Media Master の概要](#)、（5 ページ）の図の 1 を参照）。

使用できるオプションは次のとおりです。

オプション	説明
[ファイルを開く]	コンピュータに保存されている WAV ファイルを開き、選択された再生デバイスで再生します。
[名前を付けて保存]	録音を WAV ファイルとして指定した場所に保存します。

再生デバイスと録音デバイスの変更

Messaging Inbox Web ツールの操作中にメッセージの再生と録音に使用するデバイスを選択できます。

再生デバイス	<ul style="list-style-type: none"> 電話：Cisco Unity Connection からユーザにコールが発信され、ユーザは電話の受話器またはスピーカーフォンのスピーカーを通じて音声を聞き取ります。 コンピュータのスピーカー（使用可能な場合）。
録音デバイス	<ul style="list-style-type: none"> 電話：Cisco Unity Connection からユーザにコールが発信され、ユーザは電話の受話器またはスピーカーフォンのマイクを使用して音声を録音します。 コンピュータのマイク（使用可能な場合）。



ヒント

録音の音質が最も良くなるのは、電話機を使用する場合です。

手順

- ステップ 1** Messaging Inbox Web ツールで、ボイスメッセージを開きます。
- ステップ 2** Media Master の [オプション] メニューで、[再生と録音] を選択します。
- ステップ 3** 適切なデバイスを設定します。

オプション	説明
再生デバイス	電話またはコンピュータを選択します。
録音デバイス	電話またはコンピュータを選択します。

- ステップ 4** 再生デバイスまたは録音デバイスとして電話を使用する場合は、[アクティブな電話番号]セクションでプライマリ内線電話番号を選択するか、別の電話番号を入力します。この番号は、電話を使用して再生または録音を行うときに Connection がユーザにコールを発信する番号になります。アクティブな電話番号を設定すると、Media Master の再生リストと録音リスト（[Media Master の概要](#)、[5 ページ](#)）の図の 11 と 3）でデバイスを選択できるようになります。これらのリストを使用するとデバイスを簡単に変更できます。この選択は Media Master を含むすべての Messaging Inbox ページで保存されます。
- ステップ 5** システムに最適なパフォーマンス設定を選択します。

オプション	説明
ダウンロード中にメッセージを再生する	Connection へのダウンロード中にメッセージを再生します。
再生前にすべてのメッセージをダウンロードする	すべてのメッセージをダウンロードしてから再生します。 ヒント 低帯域幅環境で Connection を使用する場合（たとえば、低速モデムを使用する場合）、最適なパフォーマンスと音質を得るには、メッセージを完全にダウンロードしてから再生することを推奨します。

ステップ 6 [OK] を選択します。

再生デバイスがコンピュータのスピーカーである場合のメッセージ再生音量の変更

このセクションでは、Media Master でコンピュータのスピーカーを再生デバイスとして設定している場合に、Messaging Inbox Web ツールで再生するすべてのメッセージの再生音量を変更する方法について説明します。



(注) ここで設定した音量は、Cisco Unity Connection カンバセーション、録音名、ユーザグリーティングの音量には反映されません。

手順

- ステップ 1 Messaging Inbox Web ツールで、ボイスメッセージを開きます。
- ステップ 2 必要に応じて、Media Master の [音量] スライダーをドラッグして音量を調節します。

再生デバイスがコンピュータのスピーカーである場合のメッセージ再生速度の変更

このセクションでは、Media Master でコンピュータのスピーカーを再生デバイスとして設定している場合に、Messaging Inbox Web ツールで再生するすべてのメッセージの再生速度を変更する方法について説明します。



(注) 次の手順で設定した速度は、Cisco Unity Connection のカンバセーション、録音名、ユーザ グリーティングの速度には反映されません。

手順

- ステップ 1 Messaging Inbox Web ツールで、ボイス メッセージを開きます。
- ステップ 2 必要に応じて、Media Master の [スピード] スライダーをドラッグして再生速度を調節します。
- ステップ 3 [再生] を選択して、コンピュータのスピーカーで聞くすべてのメッセージの速度設定を保存します。

Media Master のキーボード ショートカット

Alt+O キー : [オプション] メニューが開きます。



第 3 章

メッセージの管理

- [Messaging Inbox の連絡先リストを使用したボイス メッセージの宛先指定, 11 ページ](#)
- [ボイス メッセージの送信, 12 ページ](#)
- [メッセージのチェック, 14 ページ](#)
- [ボイス メッセージへの返信, 15 ページ](#)
- [ボイス メッセージの転送, 17 ページ](#)
- [メッセージの削除, 18 ページ](#)
- [開封確認の管理, 19 ページ](#)

Messaging Inbox の連絡先リストを使用したボイス メッセージの宛先指定

Messaging Inbox の連絡先リストには、ボイス メッセージの宛先として指定できる Cisco Unity Connection ユーザ、プライベート同報リスト、およびシステム同報リストがすべて登録されています。

Connection の設定によっては、ボイス メッセージの宛先として指定できるリモート連絡先が連絡先リストに登録されている場合もあります（リモート連絡先とは、ディレクトリに登録されていないリモート ボイス メッセージング システム上のユーザのことです）。

手順

-
- ステップ 1** [新しいメッセージ] ダイアログボックスで、メニューバーの下にある [連絡先を開く] アイコンをクリックします。
- ステップ 2** [名前検索] ダイアログボックスで適切なタブを選択し、検索範囲を指定します。
- ステップ 3** [検索条件] セクションで、メッセージの宛先として指定するユーザ、プライベート同報リスト、システム同報リスト、またはリモート連絡先に関する適切な情報を選択および入力します。
- ステップ 4** [検索] を選択します。
- ステップ 5** [検索結果] リストで、メッセージの宛先に指定する受信者を選択してから、必要に応じて [宛先]、[Cc]、または [Bcc] を選択します ([名前] カラムのスピーカーのアイコンをクリックすると、ユーザまたはリストの録音名を聞くことができます)。
- ステップ 6** [閉じる] を選択します。
-

ボイスメッセージの送信

ボイスメッセージは、Cisco Unity Connection ユーザ、電子メールアドレス、プライベート同報リスト、およびシステム同報リストに対して送信できます。

メッセージの宛先に Connection ユーザを指定するには、ユーザの名前を入力します（ユーザの内線番号を入力してメッセージの宛先を指定することはできません）。リストを宛先に指定するには、リストの名前を入力します。

電子メールアドレス宛のメッセージは、電子メールメッセージに添付されたサウンド（WAV）ファイルとして送信されます。

送信したメッセージのコピーは Connection によって保存されないことに注意してください。



ヒント メールボックスのサイズが割り当て分を超えると、メッセージを送信できない場合があります。

手順

-
- ステップ 1** Messaging Inbox Web ツールで、メニューバーの下にある [新しいメッセージ] アイコンをクリックします。
- ステップ 2** 次のどちらかの方法で、メッセージの宛先を指定します。
- [宛先]、[Cc]、および [Bcc] フィールドに、ユーザ（または同報リスト）の名前または電子メールアドレス、あるいはその両方を入力します。

複数の名前および電子メールアドレスは、セミコロン (;) で区切ります。電子メールアドレスの場合、受信者の完全な電子メールアドレスを入力します（たとえば、<名前>@<ドメイン>.com）。

- [宛先]、[Cc]、または [Bcc] を選択して、Messaging Inbox の連絡先リストから受信者を追加します。

ステップ 3 必要に応じて、メニューバーの下にある [名前確認] アイコンをクリックして受信者を検索し、名前の矛盾を解決します（名前が解決されると、[To]、[Cc]、または [Bcc] フィールドの上にリンクとして表示されます）。

ヒント リンクをクリックして不要な受信者を削除します。

ステップ 4 [件名] フィールドにメッセージの件名を入力します。

ステップ 5 必要に応じて、最低 1 つの特別な送信オプションを選択します。

オプション	説明
[緊急にする]	メッセージは、通常のメッセージより先に送信されます。
[プライベートにする]	メッセージを機密扱いにするよう受信者に警告します。Connection ユーザは、プライベートメッセージを電話または Messaging Inbox を使用して転送できません。
[「メッセージ開封」確認を要求する]	受信者がメッセージを開くと、通知が届きます。 Messaging Inbox で開封確認を要求できる場合でも、すべてのタイプの開封確認を受け取れるとは限りません。Connection の管理者に、Connection がユーザに対して開封確認を送信できるように設定されているかどうかを問い合わせてください。

ステップ 6 Media Master で、[録音] をクリックしてメッセージを録音します。

ステップ 7 録音の終了後、[停止] を選択します。

送信する前にメッセージを確認するには、Media Master の [再生] をクリックします。メッセージを再録音するには、[録音] をクリックします。

ステップ 8 [送信] を選択します。

関連トピック

[Messaging Inbox の連絡先リストを使用したボイスメッセージの宛先指定](#)、（11 ページ）

メッセージのチェック

Messaging Inbox Web ツールで新規メッセージを確認するには、[メッセージの更新] アイコンを定期的にクリックします。新しいメッセージを聞いた後または開いた後に再び更新すると、[新しいメッセージ] アイコンが消えていることが確認できます。

メッセージの[送信元]フィールドには、Cisco Unity Connection ユーザの名前または、「Cisco Unity Connection Messaging System」が表示されます。[送信元]が「Cisco Unity Connection Messaging System」であるメッセージは、発信者が Connection ユーザでないか、またはメッセージを残したときに Connection ユーザとしてサインインしていなかったことを意味します（このような発信者からのメッセージには返信できません）。

[件名]フィールドには、発信者の電話番号（使用可能な場合）が表示されます。

手順

ステップ 1 Messaging Inbox で、メッセージの横にあるスピーカーのアイコンをクリックして、再生します（再生を停止するには、もう一度このアイコンをクリックします）。

または

[送信元] カラムのリンクをクリックして新しいウィンドウでメッセージを開き、Media Master の [再生] をクリックします。

（注） Messaging Inbox では、送信者がメッセージに添付したファイル（ドキュメント、スプレッドシート、テキスト、ファクスなど）およびテキストを表示できません。添付ファイルやテキストを表示するには、適切なアプリケーションを使用する必要があります。

ステップ 2 ボイスメッセージを管理するには、次のアイコンとメッセージメニューのオプションを使用します。

オプション	説明
[前のメッセージ]	前のメッセージを開きます。
[次のメッセージ]	次のメッセージを開きます。
[返信]	ボイスメッセージを使用して送信者に応答します（他の Connection ユーザからのメッセージに対してのみ使用可能）。
[全員に返信]	メッセージを受信したすべての Connection ユーザにボイスメッセージで返信します。
[転送]	別の Connection ユーザまたは同報リスト（あるいはその両方）にメッセージを送信します（プライベートとマークされたメッセージは転送できません）。

オプション	説明
[削除]	メッセージを削除します。 ヒント 削除する前にメッセージをアーカイブするには、WAV ファイルとしてハードディスクに保存します。メッセージを開いた状態で、Media Master のオプションメニューから [名前を付けて保存] オプションを選択します。
[保存]	メッセージと、すべての変更（メッセージに新規のマークを付けた、件名を変更したなど）を保存し、Messaging Inbox に戻ります。
[未開封マークを付ける]	メッセージを新規メッセージとしてマークする場合は、Media Master の上にあるこのチェックボックスをオンにします（この結果、電話のメッセージインジケータが点灯する場合があります）。
[再送信]	不達受信確認で、元のメッセージを再送信します。
[閉じる]	変更を保存せずにメッセージを閉じ、Messaging Inbox に戻ります。

関連トピック

- [ボイスメッセージへの返信, \(15 ページ\)](#)
- [ボイスメッセージの転送, \(17 ページ\)](#)
- [開封確認の管理, \(19 ページ\)](#)

ボイスメッセージへの返信

他の Cisco Unity Connection ユーザからのボイスメッセージに返信できます。送信者だけに返信することも、ユーザ、電子メールアドレス、プライベート同報リスト、システム同報リストなど、受信者を追加することもできます。元のメッセージを再送信することによって、不達確認（NDR）メッセージに返信することもできます。

「Cisco Unity Connection Messaging System」からのメッセージは、発信者が Connection ユーザでないか、またはメッセージを残したときに Connection ユーザとしてサインインしていなかったことを意味します。そのような発信者からのメッセージには返信できません。

送信した返信のコピーは Connection によって保存されないことに注意してください。

手順

- ステップ 1** Messaging Inbox で、[送信元] カラムのリンクをクリックして新しいウィンドウでメッセージを開きます。
- ステップ 2** 開いたメッセージで、必要に応じて [返信]、[全員に返信]、[再送信] を選択します。
- ステップ 3** 次のどちらかの方法で、メッセージの宛先にその他の受信者を指定します。

- [宛先]、[Cc]、および [Bcc] フィールドに、ユーザ（または同報リスト）の名前または電子メールアドレス、あるいはその両方を入力します。
複数の名前および電子メールアドレスは、セミコロン (;) で区切ります。電子メールアドレスの場合、受信者の完全な電子メールアドレスを入力します（たとえば、<名前>@<ドメイン>.com）。
- [宛先]、[Cc]、または [Bcc] を選択して、Messaging Inbox の連絡先リストから受信者を追加します。

- ステップ 4** 必要に応じて、メニューバーの下にある [名前確認] アイコンをクリックして受信者を検索し、名前の矛盾を解決します（名前が解決されると、[To]、[Cc]、または [Bcc] フィールドの上にリンクとして表示されます）。

ヒント リンクをクリックして不要な受信者を削除します。

- ステップ 5** 必要に応じて、[件名] フィールドを編集します。
- ステップ 6** 必要に応じて、最低 1 つの特別な送信オプションを選択します。

オプション	説明
[緊急にする]	メッセージは、通常のメッセージより先に送信されます。
[プライベートにする]	メッセージを機密扱いにするよう受信者に警告します。Connection ユーザは、プライベートメッセージを電話または Messaging Inbox を使用して転送できません。
[「メッセージ開封」確認を要求する]	受信者がメッセージを開くと、通知が届きます。 Messaging Inbox で開封確認を要求できる場合でも、すべてのタイプの開封確認を受け取れるとは限りません。Connection の管理者に、システムがユーザに対して開封確認を送信できるように設定されているかどうかを問い合わせてください。

- ステップ 7** Media Master で、[録音] をクリックしてメッセージを録音します。
- ステップ 8** 録音の終了後、[停止] を選択します。
送信する前にメッセージを確認するには、Media Master の [再生] をクリックします。メッセージを再録音するには、[録音] をクリックします。

ステップ 9 [送信] を選択します。

関連トピック

[Messaging Inbox の連絡先リストを使用したボイスメッセージの宛先指定](#), (11 ページ)

ボイスメッセージの転送

ボイスメッセージは、他の Cisco Unity Connection ユーザ、電子メールアドレス、プライベート同報リスト、およびシステム同報リストに対して転送できます。ユーザまたは別の Connection ユーザによってプライベートのマークが付けられたメッセージを Messaging Inbox Web ツールから転送することはできません。

ボイスメッセージをそのまま転送するか、または転送メッセージの前に再生される音声コメントを録音することができます。

転送したメッセージのコピーは Connection によって保存されないことに注意してください。

手順

ステップ 1 Messaging Inbox で、[送信元] カラムのリンクをクリックして新しいウィンドウでメッセージを開きます。

ステップ 2 開いたメッセージで、[転送] を選択します。

ステップ 3 次のどちらかの方法で、メッセージの宛先を指定します。

- [宛先]、[Cc]、および [Bcc] フィールドに、ユーザ（または同報リスト）の名前または電子メールアドレス、あるいはその両方を入力します。

複数の名前および電子メールアドレスは、セミコロン (;) で区切ります。電子メールアドレスの場合、受信者の完全な電子メールアドレスを入力します（たとえば、<名前>@<ドメイン>.com）。

- [宛先]、[Cc]、または [Bcc] を選択して、Messaging Inbox の連絡先リストから受信者を追加します。

ステップ 4 必要に応じて、メニューバーの下にある [名前確認] アイコンをクリックして受信者を検索し、名前の矛盾を解決します（名前が解決されると、[To]、[Cc]、または [Bcc] フィールドの上リンクとして表示されます）。

ヒント リンクをクリックして不要な受信者を削除します。

ステップ 5 必要に応じて、最低 1 つの特別な送信オプションを選択します。

オプション	説明
[緊急にする]	メッセージは、通常のメッセージより先に送信されます。

オプション	説明
[プライベートにする]	メッセージを機密扱いにするよう受信者に警告します。 Connection ユーザは、プライベートメッセージを電話または Messaging Inbox を使用して転送できません。
[「メッセージ開封」確認を要求する]	受信者がメッセージを開くと、通知が届きます。 Messaging Inbox で開封確認を要求できる場合でも、すべてのタイプの開封確認を受け取れるとは限りません。 Connection の管理者に、Connection がユーザに対して開封確認を送信できるように設定されているかどうかを問い合わせてください。

- ステップ 6** 必要に応じて、Media Master で [録音] をクリックして音声コメントを録音します。
- ステップ 7** 録音の終了後、[停止] を選択します。
メッセージを転送する前に音声コメントを確認するには、Media Master の [再生] をクリックします。音声コメントを再録音するには、[録音] をクリックします。
- ステップ 8** [送信] を選択します。

関連トピック

[Messaging Inbox の連絡先リストを使用したボイス メッセージの宛先指定](#), (11 ページ)

メッセージの削除

1 つまたは複数のメッセージを Messaging Inbox Web ツールから直接削除できます。また、開いた後でメッセージを削除することもできます。

手順

- ステップ 1** Messaging Inbox で、削除するメッセージの左側にあるチェックボックスをオンにします。複数のチェックボックスをオンにすると、複数のメッセージを一度に削除できます。
または
メニューバーの下にある [すべて選択] アイコンをクリックして、ページ上のすべてのメッセージに削除のマークを付けます。
- ステップ 2** メニューバーの下にある [選択項目の削除] アイコンをクリックします。
- ステップ 3** プロンプトで [OK] を選択します。
- ステップ 4** また、メッセージの削除は、メッセージを開いてから [削除] を選択し、[OK] を選択することによっても可能です。

関連トピック

[削除済みアイテムの管理](#), (21 ページ)

開封確認の管理

Cisco Unity Connection を使用するときは、以下のタイプの開封確認を管理できます。

開封	Messaging Inbox からメッセージを送信するときに要求する開封確認。
開封済み	受信者がメッセージを開封または再生すると、通知される開封確認メッセージ。
不達 (NDR)	メッセージを目的の受信者に配信できなかった場合に、通知される受信確認メッセージ。

どの開封確認を使用するよう設定されているかは、Connection の管理者にお問い合わせください。

Messaging Inbox では、Connection はボイス メッセージと共に開封確認を表示します。Messaging Inbox で開封確認を開く方法は、ボイス メッセージの場合と同じです。開封確認は保存と削除のみ可能です。返信と転送はできません。

開封確認では、送信されたメッセージを受信した受信者や、メッセージを再生した受信者を表示できます。NDR では、Messaging Inbox によって、メールボックスでメッセージを受け入れなかった受信者が示されます。

NDR を表示する際、Media Master を使用して元のメッセージを再生したり、それを受信しなかった受信者に再送したりすることができます。メッセージを再送するときに、コメントを録音したり、受信者リストを変更したり、配信オプションを変更したりすることができます。電話機でメッセージを再送した場合と違い、メッセージを再送しても NDR は自動的に削除されません。ユーザが削除するまで、NDR は Messaging Inbox に残ります。

手順

ステップ 1 Messaging Inbox で、[送信元] カラムのリンクをクリックして開封確認を開きます。

ステップ 2 開封確認を管理するには、次のアイコンとメッセージ メニューのオプションを使用します。

オプション	説明
[前のメッセージ]	前のメッセージを開きます。
[次のメッセージ]	次のメッセージを開きます。
[オリジナル メッセージの再送信] (NDR のみ)	オリジナル メッセージを受信できなかった受信者に再送します。音声コメントの録音、受信者リストの修正、配信オプションの変更を実行できます。
[削除]	開封確認を削除します。

オプション	説明
[保存]	開封確認と、すべての変更（開封確認に新規のマークを付けた、件名を変更したなど）を保存し、Messaging Inbox に戻ります。
[未開封マークを付ける]	受信確認を新規として保存する場合は、このチェックボックスをオンにします。
[閉じる]	変更を保存せずに受信確認を閉じ、Messaging Inbox に戻ります。開封確認に開封済みのマークが付けられます。



第 4 章

削除済みアイテム フォルダの管理

- [削除済みアイテム フォルダについて, 21 ページ](#)
- [削除済みアイテムの管理, 21 ページ](#)

削除済みアイテム フォルダについて

Messaging Inbox Web ツールから削除されたメッセージは、Cisco Unity Connection によって削除済みアイテム フォルダに保存されます。削除されたボイス メッセージを再生するには、削除されたメッセージを復元します。削除されたメッセージに返信、転送するには、Messaging Inbox に復元します。あるいは、完全に削除します。

関連トピック

[削除済みアイテムの管理, \(21 ページ\)](#)

削除済みアイテムの管理

手順

- ステップ 1** Messaging Inbox で、メニューバーの下にある [削除済みアイテムの表示] アイコンをクリックします。
- ステップ 2** [削除済みアイテム] ページで、必要に応じてアイテムを管理します。

オプション	説明
ボイス メッセージを聞く	メッセージの左にある [スピーカー] アイコンをクリックします。 または メッセージを開き、Media Master を使用して再生します。

オプション	説明
メッセージに返信する、メッセージを転送する	メッセージを開き、適切なアイコンをクリックします。
メッセージを Messaging Inbox に復元する	メッセージの左側にあるチェックボックスをオンにし、メニューバーの下にある [選択項目をInboxに戻す] アイコンをクリックします。
メッセージを完全に削除する	メッセージの左側にあるチェックボックスをオンにし、メニューバーの下にある [選択項目の削除] アイコンをクリックしてから、[OK] を選択します。



第 5 章

メールボックスのサイズの管理

- [メールボックス サイズについて, 23 ページ](#)
- [メールボックスがすぐに一杯になってしまう理由, 23 ページ](#)
- [メールボックスのサイズの管理に関するヒント, 24 ページ](#)

メールボックス サイズについて

メールボックスが一杯になっていると、Cisco Unity Connection がメッセージを処理するスピードに影響を及ぼす場合があります。Messaging Inbox Web ツールにアクセスするとき、メールボックスが次の状態の場合は Connection によって通知されます。

- 間もなく一杯になる場合
- 一杯になり、新しいメッセージを送信できない場合
- 一杯になり、新しいメッセージを送受信できない場合

メールボックスの容量制限は、Connection 管理者により設定されます。これらの制限を超えると、メッセージの送受信ができなくなる場合があります。



(注) ブロードキャスト メッセージはメールボックス全体のサイズに含まれません。

メールボックスがすぐに一杯になってしまう理由

Cisco Unity Connection メールボックスが予想よりも速く満杯になっていると感じる場合には、次に示す理由が当てはまる場合があります（メールボックスのサイズは Connection 管理者によって指定されます）。

メッセージ保存ポリシーが適用されていない

Connection のデフォルト設定では、一定の経過時間に達した場合にメッセージを自動的に削除することはありません。つまり、Connection 管理者がメッセージ保存ポリシーを適用するようにシステムを設定しない限りは、ユーザ自身が定期的の開封済みメッセージを確認し、メッセージを移動、アーカイブ、または完全に削除することによって、メールボックスのサイズを管理する必要があります。

メッセージ保存ポリシーを適用するように Connection が設定されている場合は、Connection 管理者に、メッセージが完全に削除されるまでの期間を確認してください。これで、重要なメッセージのアーカイブや移動を前もって計画できます。Connection は、メッセージ保存ポリシーが適用されることを通知しません。また、このポリシーを実行した結果、メッセージが完全に削除されることも警告しません。

削除済みアイテムと不達確認がメールボックス全体のサイズに含まれる

Messaging Inbox Web ツールの削除済みアイテム フォルダにあるメッセージが、メールボックス全体のサイズに含まれています。また、送信したメッセージについて Non Delivery Receipt (NDR) を受信した場合、特に元のメッセージに大きい添付ファイルが含まれている場合は、メールボックスのサイズがすぐに増える可能性があります。

メッセージの転送時に元のメッセージがメッセージ全体のサイズに含まれる

何度も繰り返し転送されて、サイズが増えたメッセージを受信する場合があります。元のメッセージに、転送中に追加されたすべての録音済みコメントを加えたサイズが、メッセージの合計サイズになります。そのため、保存されているメッセージの数が比較的少ない場合でも、メールボックスが制限を超える可能性があります。

合計メッセージサイズに添付ファイルが含まれる

スプレッドシート、ドキュメント、ファクス、および写真などの添付ファイルを含むメッセージを受信する可能性があります。この場合、メッセージにすべての添付ファイルを加えたサイズがメッセージの合計サイズになります。そのため、保存されているメッセージの数が比較的少ない場合でも、メールボックスが制限を超える可能性があります。

メールボックスのサイズの管理に関するヒント

次に示すヒントは、メールボックスの領域を確保するのに役立ちます。

- メッセージを削除します。Messaging Inbox Web ツールの削除済みアイテム フォルダにあるメッセージも削除します。
- 録音メッセージをアーカイブしてから削除します。アーカイブするには、録音メッセージを WAV ファイルとしてハードディスクに保存します。Messaging Inbox では、Media Master の [オプション] メニューで [名前を付けて保存] オプションを使用します。
- ボイスメッセージをハードディスク上のフォルダに移動した後、Messaging Inbox から削除します。



索引

C

Cisco Unity Connection Messaging System [15](#)
メッセージへの返信 [15](#)

M

Media Master [5, 6, 7, 8, 9](#)
概要 [5](#)
キーボードショートカット [9](#)
図 [5](#)
すべてのメッセージのスピーカー再生音量の変更 [8](#)
すべてのメッセージのスピーカー再生速度の変更 [8](#)
録音でのサウンドファイルの使用 [6](#)
録音デバイスおよび再生デバイスの変更 [7](#)
Messaging Inbox Web ツール [1, 2](#)
アクセス [2](#)
概要 [1](#)

N

NDR。参照先：[不達確認](#)

あ

アイコン、メッセージの更新 [14](#)
アクセス [2](#)
Messaging Inbox Web ツール [2](#)
Messaging Inbox Web ツールのヘルプ [2](#)
宛先指定、ボイスメッセージ、Messaging Inbox の連絡先リストを使用 [11](#)

お

音量 [8](#)
すべてのメッセージのスピーカー再生の変更 [8](#)

か

開封確認 [19](#)
管理 [19](#)
タイプ [19](#)
開封済み、概要 [19](#)
管理 [19, 21, 24](#)
開封確認 [19](#)
フォルダ内の削除済みアイテム [21](#)
メールボックス サイズ、ヒント [24](#)

き

キーボードショートカット [9](#)
Media Master [9](#)
緊急配信 [13, 16, 17](#)
ボイスメッセージの送信 [13](#)
ボイスメッセージの転送 [17](#)
ボイスメッセージへの返信 [16](#)

さ

再生 [7](#)
デバイスの変更 [7](#)
サウンドファイル [6](#)
録音で使用 [6](#)
削除 [18](#)
メッセージ [18](#)
削除済みアイテム [24](#)
メールボックス サイズへの影響 [24](#)

- 削除済みアイテムの取得 [21](#)
- 削除済みアイテム フォルダ [21](#)
 - アイテムの管理 [21](#)
 - 概要 [21](#)
 - メッセージの取得 [21](#)

し

- システム同報リスト [12](#)
 - ボイス メッセージの送信 [12](#)
- ショートカット [9](#)
 - Media Master のキーボード [9](#)

そ

- 送信 [11, 12](#)
 - ボイス メッセージ [12](#)
 - リモート連絡先 [11](#)
- 速度 [8](#)
 - すべてのメッセージのスピーカー再生の変更 [8](#)

て

- 転送されたメッセージ [24](#)
 - メールボックス サイズへの影響 [24](#)
- 添付ファイル、メールボックス サイズへの影響 [24](#)

と

- 特別な送信オプション [13, 16, 17](#)
 - ボイス メッセージの送信 [13](#)
 - ボイス メッセージの転送 [17](#)
 - メッセージへの返信 [16](#)

ふ

- 不達確認 [19, 24](#)
 - 概要 [19](#)
 - 管理 [19](#)
 - メールボックス サイズへの影響 [24](#)
- プライベート配信 [13, 16, 18](#)
 - ボイス メッセージの送信 [13](#)
 - ボイス メッセージの転送 [18](#)

- プライベート配信 (続き)
 - ボイス メッセージへの返信 [16](#)
- プライベート リスト [12](#)
 - ボイス メッセージの送信 [12](#)

へ

- ヘルプ [2](#)
 - Messaging Inbox Web ツールでのアクセス [2](#)
- 変更 [7, 8](#)
 - 再生デバイス [7](#)
 - すべてのメッセージのスピーカー再生音量 [8](#)
 - すべてのメッセージのスピーカー再生速度 [8](#)
 - 録音デバイス [7](#)

ほ

- ボイス メッセージ [11, 12, 14, 15, 17](#)
 - Messaging Inbox の連絡先リストを使用した宛先指定 [11](#)
 - 送信 [12](#)
 - チェック [14](#)
 - 転送 [17](#)
 - 返信 [15](#)
- ボイス メッセージの転送 [17](#)
- ボイス メッセージへの返信 [15](#)

め

- メールボックス [23, 24](#)
 - 一杯、通知 [23](#)
 - 一杯になる理由 [23](#)
 - サイズを管理するためのヒント [24](#)
- メールボックスが一杯 [23](#)
 - 通知 [23](#)
 - 理由 [23](#)
- メッセージ [8, 14, 18](#)
 - 削除 [18](#)
 - すべてのスピーカー再生音量の変更 [8](#)
 - すべてのスピーカー再生速度の変更 [8](#)
 - チェック [14](#)
- メッセージ開封確認 [13, 16, 18, 19](#)
 - 概要 [19](#)
 - ボイス メッセージの送信 [13](#)
 - ボイス メッセージの転送 [18](#)
 - ボイス メッセージへの返信 [16](#)

メッセージの更新アイコン [14](#)
メッセージのチェック [14](#)
メッセージ保存ポリシー [24](#)
 メールボックス サイズへの影響 [24](#)

り

リモート連絡先、Messaging Inbox 連絡先リストでの [11](#)

ろ

録音 [6,7](#)
 サウンドファイルの使用 [6](#)
 デバイスの変更 [7](#)

